



第58回 創造祭 建築模型コンテスト 2024年9月13日(金)

【建築模型テーマ】

「60年の軌跡と繋ぎ続ける未来」

東洋大学理工学部の日色真帆教授に建築模型制作講義と制作指導をしてもらいました。【講評】は当日教授からお話いただいた内容です。



日色教授と
生徒会建築模型チーフ有元優佳さん

アイデア賞



高校1年D組 「お菓子の家」
高校1年G組 「大仏」
高校2年H組 「変化」

【講評】

1年生の作品は、作っているうちに面白くなってきたことが伝わってくる。2年生はいろいろ考えている。飛行機が落ちて周りの風景と溶け込むあたりはさすがと思う。



▲2年H組作品
「変化 一戦争を乗り越えてー」

優良賞



高校1年N組 軌跡と未来
高校2年G組 60年の方程式
高校2年T組 Sixty anniversary

◀【講評】 1年N組

模型として非常にキレイ。一般的に柱は太く作りがちだけれど、これは華奢な柱で、軽やかに作っている。とても印象的な作品に仕上がっている。



【講評】 2年G組 ▶

後ろに未来があって、「ここから見ると矢印がある。廃墟っぽいが緑があって、「ひょっとしてキレイ？」と思わせる。くらい未来のコンセプトが作っていくうちに明るい方に引っ張られてしまったよう。とてもよい。



◀【講評】 2年T組

縦横比は違うが、校舎を忠実に再現している。奥にカフェがある。実際にはないそうだが、こんなのがあったらいいな、という自分達の夢を挟み込んでいる。



リアリティ賞



高校1年I組 「私たちと原爆ドーム」
高校1年D組 「素人が作った白い家」
高校2年J組 「時を超える家 60年の暮らしの変化」

【講評】 2年J組 ▶

建築に時間軸が入ってくることはないので、今回のテーマは非常に難しい。2分割、3分割・・・と同じ構図になりがち。だが、この作品は展示の仕方がキレイで、正面から見ると説得力がある。しげしげと見てしまう作品。



◀【講評】 1年I組

原爆ドームをどう残すかが建築界のテーマとなっている。現在はあの姿で固定するように修復したが、今後の我々の課題になってくるだろう。この作品は「原爆ドーム」をきちんと頑張っている。後ろ側にもリアリティがある。



【講評】 1年S組 ▶

大いに悩んだ作品。デザインが良く、勘どころをおさえていて、建物として魅力的。中に入ったら楽しそう。庭の芝生で遊べるデザインだが、窓がない。「作り忘れたのか？」などと考えてしまった。腕に覚えのある人達が作ったように感じる。



特賞 理工学部賞



高校2年E組 ▶
「60年の時を経て ～円了に捧げる～」

新校舎をグレー、旧校舎を白にして、新旧合体が面白い。50年前は鉄筋コンクリートが多かったが、今はまた昔に戻ってきた。昔を象徴しているのがよい。



【受賞生徒の声】

僕たちは器用ではないので、自分達のできる範囲でやろうと思った。昔の校舎の写真が2、3枚しかなく、自分達でイメージを膨らませた。こだったのは貯水槽です。

2025年度入試日程

《中学校》

【専願入試】 11月30日(土)	【適性検査型入試】 11月24日(日) 午前
【英語特別入試】 11月24日(日) 午後	【一般入試】 第1回 2025年 1月5日(日) 第2回 2025年 1月25日(土)
	【総合型入試】 2025年 2月5日(水)

《高等学校》

【単願推薦入試】 2025年 1月9日(木)	【一般入試】 【併願推薦入試(千葉県受験生対象・前期)】 2025年 1月15日(水)
	【併願推薦入試(千葉県受験生対象・後期)】 2025年 1月18日(土)

※詳細は本校ホームページを適宜ご覧ください。



▲学校ホームページ



▲X (旧Twitter)



▲Instagram